

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12053

婦人団体育成事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	生涯学習振興費		
	大事業	生涯学習振興事業		
中事業	婦人団体育成事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	松下 行男 435-1138
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	社会の変化に対応し活動することのできる女性団体を育成し、明るく住みよい社会の実現をめざして地域での活動を進める。		和歌山市婦人団体連絡協議会に、婦人団体育成事業を委託し、研修会や女性学級等様々な活動を通してリーダーを育成し、女性の資質や能力の向上に努める。			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	和歌山市婦人団体連絡協議会に婦人団体育成事業を委託し、実施。 ・各種研修会の実施 ・婦人大会の開催 ・婦人総合体育大会の開催 ・地域別市民実践活動の実施 ・女性学級の実施等	和歌山市婦人団体連絡協議会に婦人団体育成事業を委託し、実施。 ・各種研修会の実施 ・婦人大会の開催 ・婦人総合体育大会の開催 ・地域別市民実践活動の実施 ・女性学級の実施等	和歌山市婦人団体連絡協議会に婦人団体育成事業を委託し、実施。 ・各種研修会の実施 ・婦人大会の開催 ・婦人総合体育大会の開催 ・地域別市民実践活動の実施 ・女性学級の実施等	和歌山市婦人団体連絡協議会に婦人団体育成事業を委託し、実施。 ・各種研修会の実施 ・婦人大会の開催 ・婦人総合体育大会の開催 ・地域別市民実践活動の実施 ・女性学級の実施等	和歌山市婦人団体連絡協議会に婦人団体育成事業を委託し、実施。 ・各種研修会の実施 ・婦人大会の開催 ・婦人総合体育大会の開催 ・地域別市民実践活動の実施 ・女性学級の実施等	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	2,195	2,195	2,195	2,195	2,195	2,195	2,090	0	2,090	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△4.8%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	4,228	4,387	5,275	5,355	5,719	5,719	6,363	0	6,363	0
	正規職員以外	200	200	224	445	175	224	0	0	0	0
	小計	4,428	4,587	5,499	5,800	5,894	5,943	6,363	0	6,363	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	2,195	2,195	2,195	2,195	2,195	2,195	2,090	0	2,090	0	
所要人数(人)	正規職員	0.53	0.55	0.66	0.67	0.71	0.71	0.79	0.00	0.79	0.00
	正規職員以外	0.08	0.08	0.09	0.09	0.07	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	婦人団体育成事業委託料 2,195千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	研修会数	件	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	5	6		
			達成度(%)	116.6%	83.3%	100%	%	%
成果指標	研修会参加者数(会長・リーダー研修、県婦連研修)	人	目標値	350	350	350	300	300
			実績値	326	297	271		
			達成度(%)	93.1%	84.9%	77.4%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	様々な活動を通してリーダーを育成、女性の資質や能力の向上が見込める。
見直し・改善内容	若い世代を会員に取り込むため、会議・研修会等の開催日時を参加しやすい時間帯に改善する。